

保護者様

横浜市立南希望が丘中学校  
校長 内田 克弥

# 要保存

## 災害発生時等における対応について(令和2年度改訂版)

横浜市教育委員会により、「横浜市学校防災計画」が令和2年に改訂されました。その内容を受け、「災害発生時等における対応について」をまとめ直しました。

また、あらたな記載事項も加わりましたので、必ずご家庭でご確認の上、ご協力をお願いいたします。

### 1 特別警報・警報発令時の対応について

<警報対象地域> 横浜市内、神奈川県全域または神奈川県東部

◇特別警報 ◇暴風警報 ◇大雪警報 ◇暴風雪警報 ◇降灰予報	○午前6時に、左の警報(降灰予報)が継続中の場合は、全市一斉休校となります。学校からは、連絡しません。各家庭で気象情報を確認してください。 ○降灰が継続している間は、休校となります。 ○暴風警報が出ていない「大雨警報」「洪水警報」「各種注意報」が発令時に、登校が危険であるとご家庭で判断した場合は、遅刻・欠席にはなりません。その際、学校より確認のため、保護者に連絡をさせていただきます。 ○登校後に、左の警報(降灰予報)が発令され場合は、状況に応じて生徒の安全確保を最優先にして判断します。(通常授業の継続、下校時間の変更、集団下校、学校留め置き、保護者への引き渡し等、状況に応じて判断) * 必要に応じて、学校 HP、メール配信で保護者へお知らせします。
◇交通機関の計画運休	○大型台風や大雪の影響などで、市内鉄道会社全社(JR 線、東急線、みなとみらい線、京急線、相鉄線、市営地下鉄線、横浜シーサイドライン)の計画運休が判明した場合には、全校一斉休校となります。

※気象情報は、横浜市危機管理室HP、横浜市水防災情報HP、テレビ、ラジオなどで確認してください。

※自然教室、修学旅行など原則として延期・中止となりますが、目的地に警報等が発表されておらず時間を遅らせれば安全な場合は実施することもあります。

### 2 大規模地震等の対応について

★気象庁は東海地震の「注意情報」「警戒宣言」の発表を行わないこととしました。また、東海地震の「注意情報」「警戒宣言」に代わる「南海トラフ地震に関する情報」の発表による、自動的な「全市一斉休校」はありません。

◇大規模地震発生時 ※横浜市内の何れかで震度5強以上が発生	○在宅時に大地震が発生した場合、臨時休校になります。 ○在校時は、授業を打ち切ります。引き渡し依頼書に基づき、生徒を引き渡します。 ○登下校中は、学校か自宅か近いほうに避難します。 落下物(看板、外壁、ガラス)や塀、自販機や崖に注意し、近くの避難場所、公園、空き地など安全な場所へ ※家庭でも通学路の確認をしてください。 ○教育再開は被害の規模、程度によりますが発災後3日程度経過した後準備を始めることを想定しています。
◇大規模地震にあたらぬ地震発生時	○震度5弱以下の場合は、校長が適宜判断します。(必要に応じメール配信) ○学校で生徒を預かり、保護者または代理人に生徒を引き渡す場合 ・地震により、相鉄線が運転再開の見込みが立たない ・学校および周辺地域が停電となり、安全に帰宅させられない

※休日、夜間に発生した場合は、生徒の状況を学校にお知らせください。

### 3 その他

○災害時には災害用伝言ダイヤルを利用してください。

「伝言の再生方法」次の順にダイヤル①171 ②2 ③080-6852-4218 →「メッセージを再生」

○災害や不審者等、必要に応じて学校よりメール配信等をさせていただきます。

\* 部が今回変更になったことです。